

平成26年度滋賀県原子力防災訓練(図上訓練)の実施結果について (福井県主催原子力防災訓練との連携訓練)

1 目的

- 福井県との連携強化
- 各訓練項目に係る手順の確認および課題の抽出、今後の対策・対応の改善

2 日時

平成26年8月31日(日) 7時～12時30分

3 参加・協力機関

原子力規制庁、自衛隊滋賀地方協力本部、陸上自衛隊第3戦車大隊、福井県、長浜市、高島市、湖北地域消防本部、高島市消防本部、関西電力株式会社

4 訓練内容

(1) 訓練想定<福井県による設定>

平成26年8月31日、関西電力株式会社高浜発電所3号機において、外部からの電源および発電所内の非常用電源等が喪失し補助給水系機能等が喪失。全面緊急事態に至り、炉心損傷により放射性物質が放出。

(2) 訓練項目

県本庁の災害対策本部事務局体制として、事務局長、次長、総務係(4名)、情報係(4名)、通信気象係(3名)で活動。

また、緊急時モニタリング本部要員として2名を配置し、以下の訓練を実施。

ア 災害対策本部本部員会議運営訓練(2回開催)<51名>

県本庁出席者：本部員(副知事、各部局長)14名、幹事(各部局幹事課長)13名、自衛隊2名、関西電力6名等

(本部長(知事)不在の中、副本部長(副知事)が本部長代理として指揮。)

- ▷ 収集情報(関西電力株式会社からの通報・報告、福井県からの情報、オフサイトセンター派遣職員からの報告、気象情報)の共有、状況認識統一に係る手順を確認。
 - ※ テレビ会議システムにより(国)原子力災害合同対策協議会を視聴。
 - ※ 関西電力株式会社から事故状況および復旧見通しについて聴取。
- ▷ 各種情報・状況を踏まえた対策・対応の協議および決定ならびに関係市への伝達に係る手順を確認。
 - ※ 高島市内県版UPZ内住民を対象とした屋内退避の準備要請を協議、決定。
 - ※ 本部長名による県民へのメッセージを協議、決定。
 - ※ テレビ会議システムにより県から関係市への伝達を実施。

イ オフサイトセンター連携訓練<4名>

- ▷ 高浜オフサイトセンターへ職員(4名)を派遣し、以下に係る手順の確認や、オフサイトセンター内の国および福井県等の活動内容を把握。
 - ・ (国)原子力災害合同対策協議会への参画
 - ・ 新 (国)緊急時モニタリングセンターへの参画<うち1名>
 - ・ 高浜オフサイトセンターでの現地情報収集、県災害対策本部への報告(FAX20回)
- ※ 原子力防災ネットワーク(IP-FAX、IP-電話)を使用。

ウ 緊急時情報収集伝達訓練<40名>

- ▷ 勤務時間外の宿直者による第一報受信から関係者への連絡の初動に係る手順を確認。
- ▷ 関西電力株式会社からの通報・報告(FAX8回)、福井県からの情報(FAX5回)、オフサイトセンター派遣職員からの報告(FAX20回)の受信・整理に係る手順を確認。
- ▷ 気象情報の確認・整理に係る手順を確認。
- ▷ 受信・整理した情報の県内関係機関への伝達(FAX14回)に係る手順を確認。
 - ※ 原子力防災ネットワークシステム(IP-FAX、IP-電話)、防災FAX、NTT電話等複数システムを使用。
 - ※ 館内放送により随時、受信・整理情報をアナウンスし、参集者全体での情報共有に配慮。
- ▷ 受信・整理情報の災害対策本部本部員会議への報告に係る手順を確認。
- ▷ 県政記者クラブへの提供資料(事態の状況(9回)、県内モニタリング情報(10回)および県の対応状況(4回))の調製に係る手順を確認。

5 今後に向けて

訓練結果を検証し、関係計画等の修正および現在作成中の初動対応マニュアルに反映。

- 本部事務局の組織のあり方の検討
- 事務量と必要な人員数および事務分担の整理
- 本部員会議開催のタイミングの検討ならびに配付資料および協議内容に係る事務局案の作成プロセスの整理
- 勤務時間外の宿日直者による第一報受信後の関係者への連絡のあり方の検討 など

(以上)